

図3：検診受診状況（平成23年度集団検診終了時点）

しかし、**実際の検診受診状況は・・・**

このように市民の皆様には、大変深く事業への理解をいただいておりますが、実際の大腸がん検診の受診率はどのようでしょうか？

図3にあるとおり、比較試験（下段参照）およびキャンペーンを展開し始めた平成21、22年以降、残念ながら受診者数は特に増えていません。

また、仙北市では厚生労働省の研究班と共同で『大腸がん検診の研究（比較試験）』を実施しています。

大腸がんは現在増え続け、2015年にはがんの中で男女ともに罹る方が第1位になると推定されています。さらに効果の高い検診方法が世界中で求められているのです。この研究は、毎年受診する便潜血検査に加えて、最初の年に1回だけ内視鏡検査を行う検診方法が、どれ

**無料の研究事業を活用ください**

大腸がん検診として行われている便潜血検査は、簡単な上、受診を続けることで大腸がんで亡くなる可能性を60%も減らせることが今までの研究で確かめられています。

まだ受診していない方は、ぜひこれに機に、ご自身の健康のため、家族のためにも勇気ある第一歩を踏み出してください！

**ご自身のため 家族のためにも検診を**

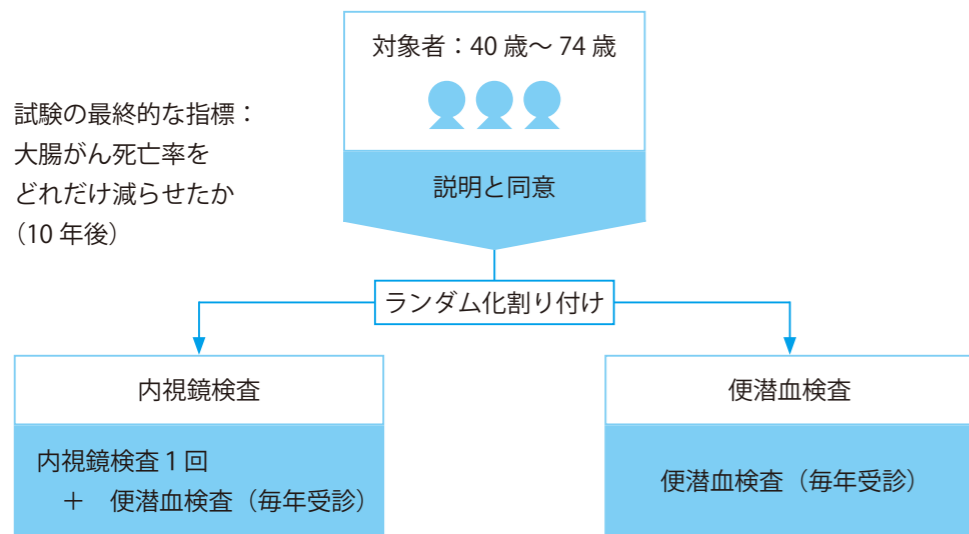
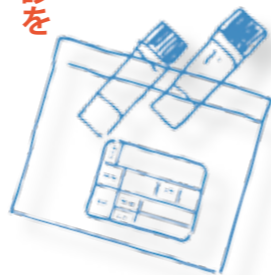


図4：大腸がん検診研究事業 ランダム化比較試験

この研究に参加することで、大腸がん検診は無料になります。ぜひ意義ある研究事業への参加をお願いします。

効果があるのかを調べる大変重要なものです（図4）。

# 大腸がん検診に関するアンケート調査

**ご協力ありがとうございました**

仙北市では、昨年9月に大腸がん検診に関する意識の把握を目的として、郵送によるアンケート調査を行いました。

5,524人の市民の皆様にご協力いただき、2,958人（回答率53・5%）の方から回答をいただきました。皆様の温かいご協力誠にありがとうございます。

**非常に高い 大腸がん撲滅キャンペーン認知率**

回答いただいた皆様の77・6%の方が、『仙北市大腸がん撲滅キャンペーン』をご存知であることがわかりました（図1）。それだけでなく、『仙北市民のために取り組みだ』『仙北市の大腸がんによる死亡が減りそうだ』など、市の事業としての取り組みに深い理解をいただいていることも改めてわかりました。

また、図2にあるとおり、『ご自宅への直接の案内』（62・9%）と並び『広報せんぼく』（64・2%）が皆様の大きな情報源となっていることも再確認でき、大変嬉しく思います。

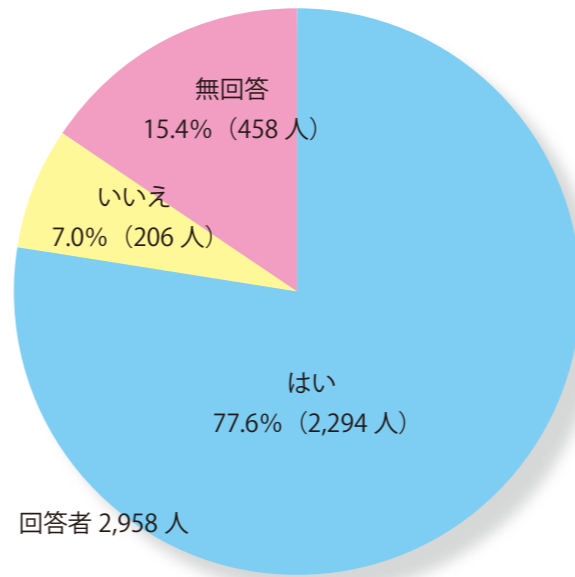


図1：住民意識調査 『仙北市大腸がん撲滅キャンペーンを知っていますか？』

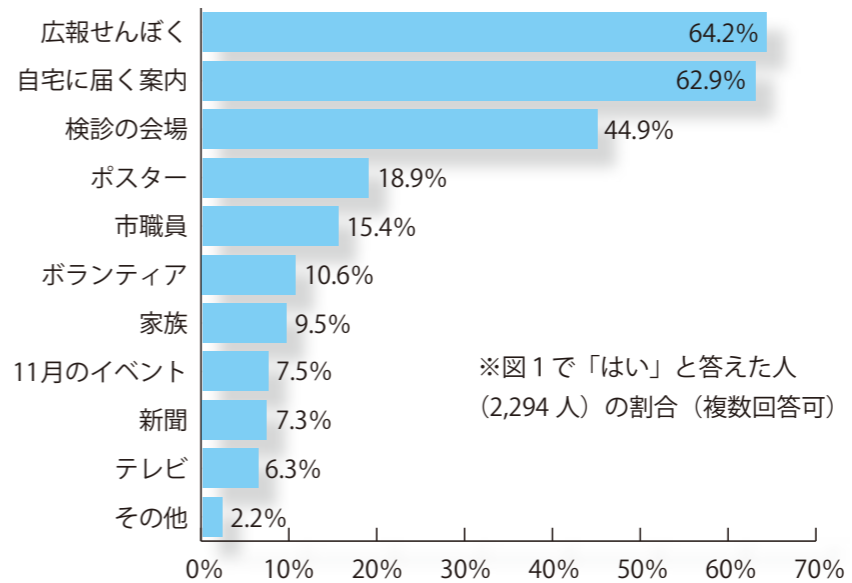


図2：住民意識調査 『どのような情報源から「大腸がん撲滅キャンペーン」を知りましたか？』